

氏名 山 田 良

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 4 8 4 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和46年12月31日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者
(学位規則第5条第2項該当)

学 位 論 文 題 目 手術の窒素代謝におよぼす影響についての研究
(— ^{15}N -グリシンを Tracer として—)

論 文 審 査 委 員 教授 田 中 早 苗 教授 水 原 舜 爾 教授 小坂二度見

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

^{15}N 標識グリシンを用い、術中および術後早期における蛋白代謝の変動に関し、臨床および動物実験により追究し、次のような知見を得た。

術中における肝臓の蛋白合成能は術前に比較してやや低下しているが、手術終了後3～6時間目頃より術前以上に盛んに蛋白合成を行うようになっていられる。術後早期の異化の亢進がうかがえる時期においても、肝臓においては蛋白の同化が盛んに行われている。組織においては、術後早期の蛋白代謝の亢進している時期において、 ^{15}N 含有量が腸管粘膜において著しい変動を示すのに反し、肝臓における組織蛋白の変動が少いことから考え、腸管粘膜に動的な蛋白の貯蔵作用のようなものがあるのではないかと考えられる。

(日本外科学会雑誌 第73巻, 3号に掲載予定)

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、手術の窒素代謝におよぼす影響について臨床的および実験的に研究したものであるが、従来十分確認されていなかった術中および術直後、さらに術後早期における蛋白代謝の変動に関し、新知見を得たものとして価値あるものと認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。